

## クマ類の出没等への注意事項について

これからクマ類の好む果実類等が実ること等から、今後さらに人里への出没が十分に予見されるとともに、キノコ採りや紅葉狩りなどに行った地域住民、観光客等がクマ類と遭遇する可能性もあることから、クマ類との不慮の遭遇を避けるために地域住民、観光客等におかれては、以下の点に気をつけて頂きたいと思います。

### クマ生息・出没情報の確認

地元自治体等で出されている生息・出没情報等を事前に確認しておき、推奨される登山道、ルートから離れないようにする。

### クマの知識・情報を持つこと

クマの糞や足跡などの痕跡を見つけたらその先には行かない、引き返すなどの注意する。子グマを見つけても近くに母グマがいる可能性が高いため、安易に近づかず速やかにその場所を離れるようにする。

### 自分の存在をアピールすること

クマ類生息地では常にクマとの遭遇の危険性があるものとして行動する。鈴など音の出るものを携帯し自分の存在をアピールすることが必要。

### 自分を取り巻く環境に気を配ること

山菜・キノコ採りなどでは採集に夢中になりがちで、周囲の異常に気がつかない場合がある。時々周囲に注意し、笹藪など見通しのきかない場所には不用意に入り込まないようにし、二人以上で行動するように心がける。

### 周りの環境の変化に注意すること

悪天候、夕暮れ時は人がクマを、クマも人を視認しにくい場合が多いので特に注意が必要。また、川や沢の近くでは、水音のためクマに異常接近するまで気がつかないこともあるので注意が必要。

### 人がおいしいものはクマもおいしい

食品やごみは必ず持ち帰ること。人間の食品またはその臭いなどに馴れさせないようにする。

[ クマ類出没対応マニュアル(環境省 2007 年)より ]